

令和3年度 地域の支え手応援事業

住民の地域活動参加支援事業(マンパワーサポート)事業

なごやか地域福祉 2020 市民講演会

ポストコロナ社会で 私たちができることを考える講演会



名古屋市社会福祉協議会マスコットキャラクター

な～や

日時：令和3年 10 月 17 日(日) 13 時 30 分～15 時 30 分

会場：名古屋市総合社会福祉会館 7 階 大会議室

<プログラム>

● オリエンテーション

主催者挨拶、趣旨説明、注意事項等

● 講演

ポストコロナ社会で私たちができることを考える講演会

「町内会長日記～コロナ時代の共助を考える～」

中日新聞社 社会部記者 鈴木 龍司 さん

○ 講演後、質疑応答あり

● 事務連絡

<注意事項>

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、ご協力をお願いします。
 - マスクの着用をお願いします。
 - 申込情報は、保健センター等の指示に従い、感染追跡調査のため、使用させていただきます場合があります。
 - 5階の福祉のひろばや、6階ロビーなどのフリースペースは利用できません。
- (2) 本講演会は、後日 YouTube で配信するために動画撮影をしています。
- (3) 本講演会の記録として、写真を撮影させていただきます。また、本会 Facebook 等に写真を掲載させていただく場合もありますので、予めご了承ください。なお、写真掲載不可の方は、スタッフまでお申し出ください。
- (4) 講演中は、携帯電話等は電源をお切りになるか、マナーモードに切り替えていただき、他の参加者の迷惑にならないようご配慮ください。
- (5) 会館内を含め区役所敷地内は全面禁煙です。ご協力をお願いします。
- (6) 貴重品は各自で保管ください。会館内において置き引きが発生したことがありますので、くれぐれもご注意ください。
- (7) 会場で出たゴミにつきましては、お持ち帰りいただきますようご協力をお願いします。
- (8) 本会場への交通手段は、原則公共交通機関となっております。北区役所駐車場に駐車されている方がいらっしゃいましたら、速やかに付近のコインパーキングへ移動をお願いします。





中日新聞社会部・鈴木龍司

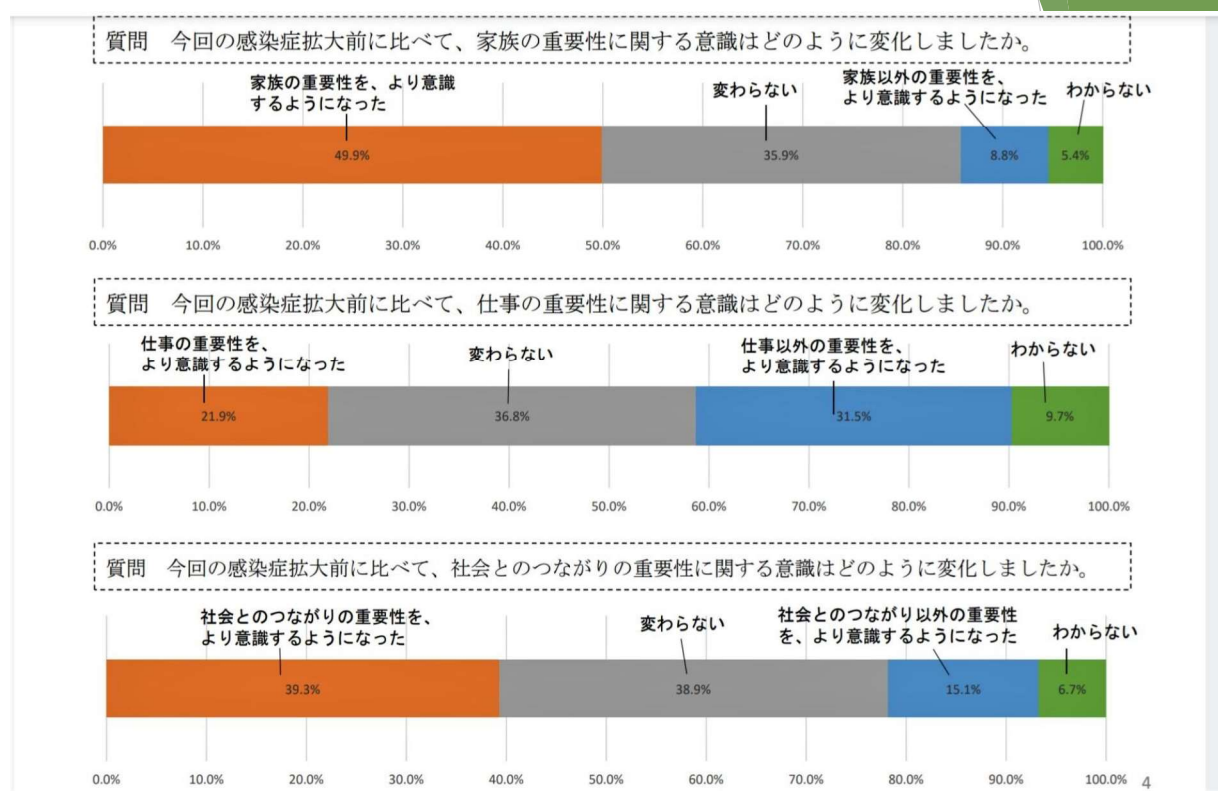
【自己紹介】

- ▶ 1982年、安城市出身（39歳）
＝妻、長男（小6）の3人家族
- ▶ 2005年、中日新聞社入社
＝尾鷲支局、三重総局、社会部、経済部、社会部
※2012年3月、北区の団地に入居
- ▶ 2021年4月、町内会長就任
＝同年6月から連載「町内会長日記」スタート



■ コロナ禍の生活意識・行動変化

－内閣府の継続調査－



■ パンデミックと文明

【感染症と文明】

- ・ 交易の発達 → 古代エジプトミイラから天然痘の痕跡
- ・ シルクロードの発達 → 5～8世紀の天然痘大流行
- ・ モンゴル軍の欧州侵攻 → 14世紀、ペスト（黒死病）大流行
- ・ 欧州の黒死病 → ルネサンス、資本主義、公衆衛生のきっかけに
- ・ 19～20世紀のコレラ大流行 → 下水道の整備促進

※ では、新型コロナは...

■ 町内会の加入率は...

名古屋市現状

区別町内会推計加入率の推移

	名古屋 市	瑞穂 区	守山 区	港区	北区	西区	千種 区	緑区	中川 区	名東 区	南区	昭和 区	中村 区	東区	熱田 区	天白 区	中区
平成22年	80.8	84.8	85.5	84.5	88.5	88.4	83.2	83.7	83.2	82.6	80.7	79.7	76.5	80.4	78.7	67.6	55.0
24年	79.4	84.4	86.2	88.8	87.5	86.6	79.0	82.4	84.3	81.5	79.3	76.7	74.2	75.7	79.2	65.7	49.0
28年	74.4	81.9	81.4	81.5	81.3	79.9	75.6	78.5	77.6	79.5	76.3	73.6	73.6	71.6	66.9	58.5	39.6
30年	72.2	79.8	79.6	79.3	77.6	77.3	76.5	76.0	76.0	74.1	73.6	72.5	70.8	69.9	63.4	57.0	39.4
22年からの増減	-8.6	-5.0	-5.9	-5.2	-10.9	-11.1	-6.7	-7.7	-7.2	-8.5	-7.1	-7.2	-5.7	-10.5	-15.3	-10.6	-15.6

(%)

(加入率：％、増減：ポイント、各年4月1日現在)

■ 入る人、入らない人、なぜ？

名古屋市・市政アンケート（２０２１年６～７月）

なぜ、加入？

- ・ 加入するのが当然だと思っていた（５３．６％）
- ・ 集合住宅でまとめて加入していたから（３１．４％）
- ・ 地域でのつながりが必要だと思った（２９．６％）
- ・ 役員等から勧誘や呼びかけがあった（１６．８％）
- ・ 活動内容に魅力があったから（１．７％）

※複数回答

なぜ、非加入？

- ・ 忙しく、活動に参加できない（27.5%）
- ・ 加入のメリットがわからない（24.2%）
- ・ どのような活動があるか知らない（20.8%）
- ・ 役員に選ばれても活動できない（18.8%）
- ・ ご近所づきあいがわずらわしい（14.8%）

※複数回答

■ 町内会、どうあるべき？

■ 所信表明

程よく、無理なく、楽しく

【私の考え】

町内会長・館木龍司

理想：程よく、無理なく、意味ある町内会

① 役制

＝町内会は親睦団体。過度の負担は避ける。本当に必要なことをできる範囲でやる

② 見える化

＝「何をやっているか分からない」という人への広報

③ 引き継ぎ

＝役員・棟委員の後任探しをその人だけに任せない。どんな仕事があるのか、整理して住民に周知。誰でもできるマニュアルを強化

町内会の定例会で配った「私の考え」

⑦ 所信表明

「所信表明」といって大げさなことで、定例会を開けるようになった。新会長の方針をしやべって、大事な「存続の危機にある北区の町会の会長に、筆者（こ）が手を挙げた四月、役員十数人で、会計したる男性へんに頼られた。三月の後、やっと、その日がたつた。緊急事態宣言が解かれた七月中旬、定例会を開くことになった。団体の集会室の予約や議題の議、案内配布、新会役の名簿づくり、お茶の買出し……。当道でやることは多い。役員としての力を尽くしてくれた、所信表明はに任せろがには、

町内会長日記
コロナ時代の共助



初の定例会で住民に所信
表明した筆者＝北区内

活動が正常化して活発になっていった時、本当に仕事との両立は可能だろうか……。

◇ (鈴木龍司)

連載は随時掲載します。
ご意見を、ファクス052-
(2001) 43331、Eメール
shakai@chunichi.co.jpまで送ってください。

[illegible][illegible]

いかに。役員に選ばれても居ないかを語るか。考えてい
る、会計の性質が「本年
度」の町内会費がましまつたことと連絡された。約百四十軒が納めてくれたといふ。団地には約二百八十

動できない)が並んでいて、これは、所信表明のシ
ントにならうだ。

迎えた七日、会議は金曜日の夜七時。案内状を届けた役員組長十六人

団体のはず。「程よく、無
理なく、今の団地に必要なの
やりまして」と訴えた。
次は活字の見え方。加

入率は怒せず、小さくて

令和3年8月1日

【私の考え】

町内会長・鈴木龍司

理想：程よく、無理なく、意味ある町内会

1 役割

＝町内会は親睦団体。過度の負担は避ける。本当に必要なことをできる範囲でやる

2 見える化

＝「何をやっているか分からない」という人への広報

3 引き継ぎ

＝役員・棟委員の後任探しをその人だけに任せない。どんな仕事があるのか、整理して住民に周知。誰でもできるマニュアルを強化



■ 町内会の役割

やれない理由 探さない



⑫ 幻に終わった夏祭り

祭りのない静かな夏が終
 わる。
 筆者(三)が町内会長とし
 てこの北区の団地は毎年、
 五の町内会が連携して祭
 りを開いてきたが、昨年に
 続き、今年も七土。七月
 中旬に会長と土まわり、
 早々土まわりを決めた。
 けれど、このコロナ禍
 で、
 できず、町内会
 の力も昔で祭りの町内会
 試みた町内会があった。
 中、現状が並み中止とな
 に参加してもいいな
 土まわりを企画した
 さん。町会長の伊藤(新)
 さん(左)が、当欄に
 が届き、早速会に行

町内会長日記
コロナ時代の共助



② 幻に終わった夏祭りのチラシを見つめる伊藤さん

③ 地域のお年寄りのために絵を描く子どもたち＝いずれも中村区で

[illegible][illegible]

■見える化①

連載「町内会長日記」に込める思い

困り事に対応 `老老支援`



伸び放題になったキンカンの木を刈り込み、枝を片付けるボランティアのメンバー。北区内で

③ お助け隊

緊急事態宣言が出ていた五月末の平日朝。「まず、これに着てもらいましょう。」待ち合わせの北区内の集会所に到着すると、蛍光色が鮮やかな黄緑色のベストを渡された。背中には「ともに暮らす 東志賀」とともに暮らす「東志賀」の文字。その日のベストが、いかに地域活動の集まったのは、地域支援



要だ。メンバーが庭のキンカンの木を見上げる。一階の部屋を獲ってしまうほど、伸び放題になっていた。「自分ではどうしようもなく」。そう話す女性は、四月に手術を終えて退院したばかり。一九七〇年代に入居し、苗木を植えた。日当たりが良く、すくすく育ったが、二十年ほど前夫に先立たれ、手入れできる人がいなくなった。「虫がつく」。敷地から出てくる。近隣の住民に「虫がつく」。敷地から出てくる。近隣の住民に「虫がつく」。敷地から出てくる。近隣の住民に「虫がつく」。

「現役世代もやがて年を取る。順番に助けていくサイクルができればいいのだ」と。若手の部員に七、十代の男性がつぎを、うなずきつつも、「仕事や子育て中の参加はなかなか難しい」。そんな言葉が浮かんだが、「老老支援」の待ったなしの現場を見て、口にはできなかった。学区の役員から「力を貸してほしい」とある。声を掛けられたのは、ちょうど同じくだった。

（鈴木 龍司）

令和3年7月4日

ウェブ会議・電子回覧板に挑戦！

ICT推進特区に



東志賀学区で「ICT」の活用プロジェクトが始動した。市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。

ネットつながりを守る

高齢者の孤立化を防ぐため、ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。



「聞こえますか？」ウェブ会議 体験

「聞こえますか？」ウェブ会議 体験。高齢者の孤立化を防ぐため、ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。

沖縄少林流ハワイ聖武館・城北支部



「聞こえますか？」ウェブ会議 体験。高齢者の孤立化を防ぐため、ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。

「聞こえますか？」ウェブ会議 体験。高齢者の孤立化を防ぐため、ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。

ヒーロー、団体の情報募集中

ヒーロー、団体の情報募集中。東志賀学区で「ICT」の活用プロジェクトが始動した。市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。ICT推進特区は、市が推進する「ICT推進特区」に、東志賀学区も参加している。

2021年(令和3年)9月(第4号)
発行：東志賀学区
連絡協議会



資源ゴミ回収 最後の砦

保健環境委員 分別ルール

雨の日も、雪の日も、暑い日も、寒い日も、資源ゴミ回収の日です。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。

マナー良く、気分良く

マナー良く、気分良く。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。



「コロナ禍 衛生意識高め」保健環境委員長に聞く

「コロナ禍 衛生意識高め」保健環境委員長に聞く。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。



二村 巖さん(73)

二村 巖さん(73)。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。

「コロナ禍 衛生意識高め」保健環境委員長に聞く。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。

「コロナ禍 衛生意識高め」保健環境委員長に聞く。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。資源ゴミ回収は、環境保護のために重要な役割を果たしています。

■ 役員引き継ぎ

■ まとめ

■ まとめ

- ▶ コロナは「気付き」と「変化」のチャンス
→「やれない理由」ではなく「やれる方法」を考える
- ▶ 人と人のつながりが重視される社会に
- ▶ 「自助・共助・公助」＝危機の時代は共助の役割拡大
- ▶ 程よく、無理なく、意味ある、そして、楽しく
→市民活動の鍵は持続可能性

まだまだ書き続けます！

▶ 連載「町内会長日記」（中日新聞市民版）

中日新聞ＨＰでも過去記事を掲載中

<https://www.chunichi.co.jp/local/aichi/chounaikai>

※町内会関連の情報も募集中

メール＝shakai@chunichi.co.jp

2021年(令和3年)
10月(第5号)
発行: 東志賀学区
連絡協議会

東志賀ヒーローズ

一丸! コロナ啓発

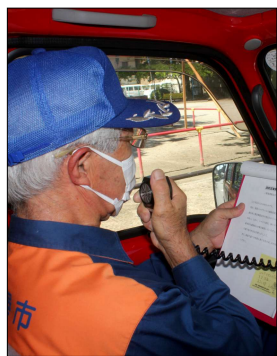
青パト 消防団が総力

5度目の緊急事態宣言が発令されていた9月。学区の防犯委員で運営する通称「青パト隊」と、消防団がタッグを組み、新型コロナウイルスの感染防止対策を訴え続けた。願いはただ一つ、学区住民の健康の維持。地道な活動に取り組む両団体のヒーローたちに迫る。

「緊急事態」住民に周知

コミュニケーションに、防犯委員と消防団員が集まってきた。ユニホームと活動服姿が凛々しい。防犯パトロールカーと消防団の広報車に乗り込み、任務に動いていった。

「マスクの着用やうがい、手洗いを徹底し:」、
「不要不急の外出は控え:」。昼間の住宅街や幹線道路に、コロナ



てマイクの音に耳を傾けていた。車に向かって手を振ったり、頭を下げたりして活動をおごらう住民の姿もあった。

い止めようと、手を携えて啓発活動に奮闘した。
コロナ禍のステイホームによって、高齢者を狙った犯罪の増加が心配されている。家での食事の機会が増えたことで、火災のリスクが高まると指摘されている。コロナに負けず、両団体の活躍は今後も続く。



学区団らん♪ 子ども食堂

おかださんの台所



保護司の岡田常晴さん(56)と妻智子さん(59)が2017年から月一回のペースで続けている子ども食堂「おかださんの台所」は、学区団らんの食卓として幅広い世代に人気だ。

「お邪魔します!」。東志賀小学校から程近い、岡田さんのご自宅に、お腹をすかせたお客さんが次々にやってくる。児童の仲良しグループや三世代の家族連れ、年配の住民が、自宅

のような雰囲気です。つるぎ、愛情のこもった手料理と会話を楽しむ。「お代わりお願いします」。岡田さん夫婦を支えるボランティアの大学生や住民が忙しく台所を行き来する。

孤食を防ぐための子ども食堂は、参加者を「子ども」に限定する団体も多い。「誰でも集まれるサロン」を理想とする岡田さん夫婦は、お

客さんに制限は設けず、多世代交流の貴重な場になっている。4年前の1回目の開催にもお客さんとして顔を出した水野逸俊さん(74)は「ここは合宿上のようない、にぎやかさがあり、住民のつながりを感じる。オープンな雰囲気、ホッとくつろぐことができる」と話す。

コロナ禍を受け、弁当のテイクアウトや配達を始めるなど、活動の幅は広がる。参加費は小・中学生100円、高校生以上300円、70歳以上200円、未就学児は無料。問い合わせは常晴さん 電話080・4376・3650

裏面に続く

防犯委員長と消防団長の緊急対談! 子ども食堂を開く岡田さんの思いとは...

今月の題字 第5号のタイトルのイラストは、東志賀小6年の里崎和花さんの作品です。皆さんのご応募お待ちしております。

緊急対談！ コロナ禍の安全・安心 家に1人、狙った犯罪警戒 ステイホーム、火災注意を

防犯委員長・北川勝弘さん



は火を使う。その分、火災のリスクは高まります。冬場はガス、石油ストーブの扱いに注意してほしいですね。

◇コロナ禍の不安は。北川さん 喫茶店通いなどを控えて、家にいる独居高齢者らが犯罪に遭わないか心配です。本来、喫茶店は貴重な情報交換の場だったはずですが、学校も短縮事業の措置が執られ、子どもを守るために、積極的な声掛けが重要だと感じます。

犬飼さん 家で三食とる人が増えましたよね。当然、調理に要します。犬飼さん 宣言中は有事対応や設備点検以外の活動がストップしました。もどかしさもありますが、コロナ対策の啓発のよう



の啓発のよう。犬飼さん 消防団長・犬飼邦雄さん

消防団長・犬飼邦雄さん

も、長い活動歴をお持ちです。

北川さん 委員長は6年目ですが、委員は30代のころからです。先輩に声を掛けられ、「町のためにやってみようか」と引き受けました。

犬飼さん 私30代で消防団に入りました。町内会の役員さんに「団員が引越してしまうので、越してしまおうので、子ども食堂」

子ども食堂 「周りの助けで今がある」

岡田常晴さん



「人助けをしよう」と思いついたら、結果として、自分が周りの人から助けられているように感じたというのが実感です。子ども食堂「おかださんの台所」を開く岡田常晴さん（56）は、5年目に入った活動を振り返る。

食堂には毎回、エプロン姿の住民や大學生がボランティアとして集う。「私が若いころと比べて、若い人のボランティアへの熱量、意識の高さを感じます」と話し、「物理的な人

てほしい」と頼まれたことがきっかけです。

犬飼さん 現在の団員は14人で、25人の定員を割っています。人と出会って、色々な話を聞けることが活動の魅力です。都会でありながら、田舎の人付き合いが残っている点が学区の良さだと感じます。ぜひ、若い人に入団してほしい。

祝ご長寿・学区の思い

今年も敬老の日の行事は中止となりました。学区で暮らす75歳以上の方は約1400人余に上ります。学区連絡協議会は、行事の代わりに、記念品と北区长らのお祝いの言葉を各戸にお届けしました。感謝の思いを伝えようと、学区役員らが手作業で封筒に詰め、町内会役員がご自宅を回りました。「コロナ禍でもお元気に」との願いを込め、感染防止対策のチラシも同封。92歳の岡本茂彦さんから、お祝いされる側のベテラン役員さんも作業を手伝ってくださいました。学区の絆を再認識する機会になったのではないのでしょうか。（編集部）

地元の英雄 情報を募集

身近なヒーローの情報をぜひ、お寄せください。学区編集部の鈴木龍司まで。
☎080・3502・3534